

日本の心が紡いできた  
比類なき「美」。

『日本美術全集』全20巻

今、日本に存在する

「最高の美」のすべてがここに。

日本の歴史や心がたちとなって  
伝えられた日本美術。

いまこそ、日本美術の全貌を探り、  
後世に伝え残すことが

私たちの使命だと考えています。

仏教美術や王朝絵巻、江戸文化はもちろん、

これまでとりあげられることや

触れられることの少なかつた縄文土器や

現代美術からマンガまでを網羅。

「原色日本の美術」(1966年・小社刊行)から46年。

半世紀の時を超え、その叡智と経験を注ぎ込んだ

日本美術の集大成「日本美術全集(全20巻)」を、

ここに刊行いたします。



山田孝幸「源氏物語」(部分) 大徳寺 第14巻より



狩野水庵「密獅子図屏風」(部分) 宮内庁三の丸尚蔵館 第10巻より



「彦根屏風」(部分) 彦根城博物館 第12巻より



伊藤若冲「虎図」(部分) エンゴロシエ・ブライズコレクション 第14巻より



「信貴山縁起絵巻」延喜加持の巻(部分) 朝護孫子寺 第5巻より



運慶「無著立像」(部分) 興福寺 第7巻より



長谷川等伯「松林図屏風」(部分) 東京国立博物館 第10巻より

# 日本美術全集

小学館創業90周年記念企画 **全20巻** 2012年12月5日 **刊行開始!!**

第1回配本〈飛鳥・奈良時代I〉法隆寺と奈良の寺院 2012年12月5日  
第2回配本〈江戸時代Ⅲ〉若冲・応挙、みやこの奇想 2013年2月22日



# 精緻なる奇想も、

今ここに、永遠の



**250年の眠りから醒め、色鮮やかに甦った若冲作品。美しき奇想に驚嘆する。**

驚異的な色彩と綿密な描写で、近年再評価が著しい奇想の画家・伊藤若冲。最新技術を駆使した修復により制作当時の輝きを取り戻した「動植絵」全三十幅。美術全集としてはじめて、そのすべてを完全掲載。

(第2回配本「若冲・応挙、みやこの奇想」〔江戸時代Ⅲ〕より)

表紙写真  
●上段：〔法隆寺金堂内陣 釈迦三尊像(部分)〕  
●下段：伊藤若冲「寒鴉花菱巻圖(部分)」

写真●伊藤若冲「虎図(部分)」

# 悠久の微笑みも。

姿で、生きつづける。



**1400年の謎に包まれた聖徳太子ゆかりの至宝を、新規撮影。**

現存する世界最古の木造建築であり、世界遺産にも登録された至宝とも言える法隆寺。いまの姿を最高の形で記録すべく、「釈迦三尊像」をはじめ、金堂内陣、大講堂内陣ほか国宝20件の新規撮影を実現。

(第1回配本「法隆寺と奈良の寺院」〔飛鳥・奈良時代Ⅰ〕より)

写真●〔法隆寺金堂内陣 釈迦三尊像(部分)〕

**法隆寺金堂内陣ほか  
国宝20件の新撮影を敢行!**



2012年5月、最新のデジタル技術を駆使した撮影と  
旧来のフィルムの良さを活かした撮影も並行して  
行われ、今までの美術書や写真集とは違った、  
本来の美しさが再現されたものとなった。

②「法隆寺と奈良の寺院」より



「法隆寺金堂内陣 釈迦三尊像ほか」 第2巻より

**全集としては  
初めて、伊藤若冲  
「動植綵絵 全30幅」を  
完全掲載!**

宝暦7年頃(1757年)から明和3年頃(1766年)  
までの約10年の歳月をかけて、絹地に  
動植物を描いた、30幅からなる彩色画  
「動植綵絵」は両親と弟、そして自身の  
永代供養を願って描かれたという。

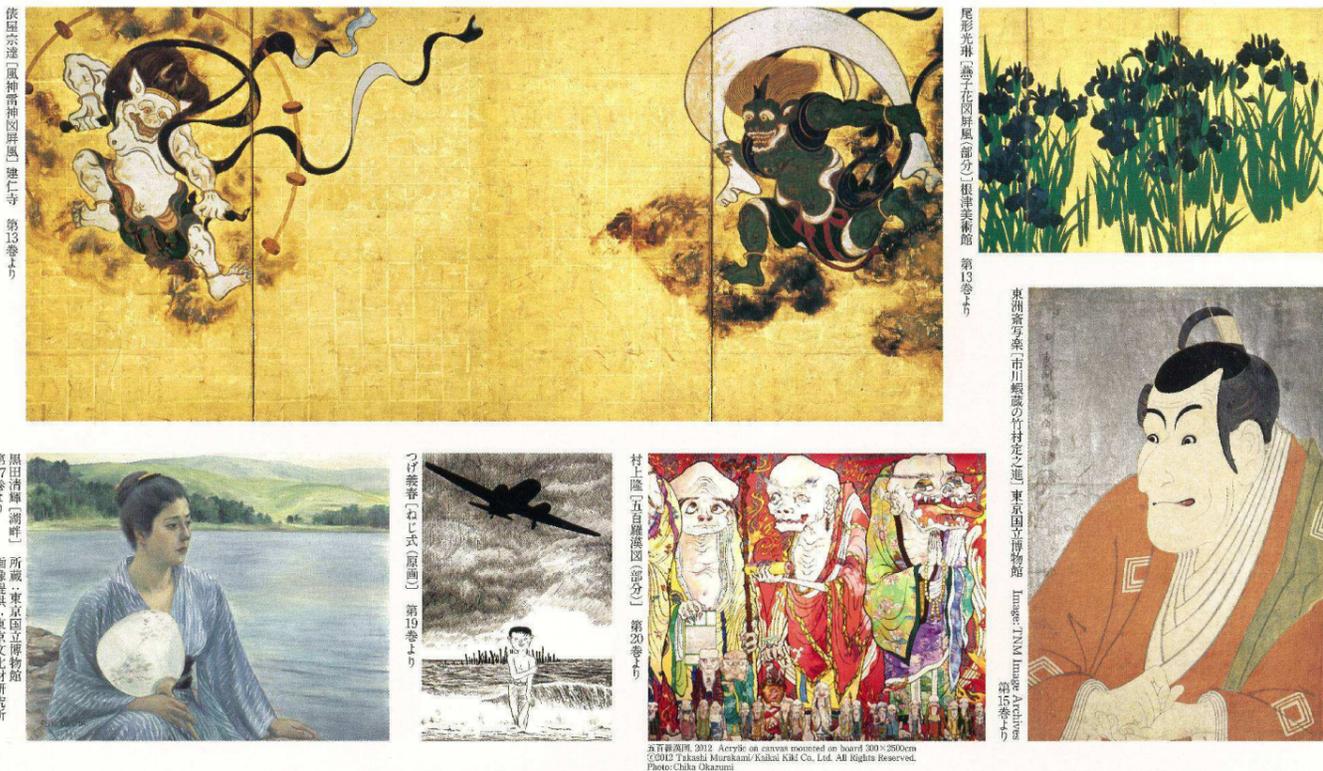
③「若冲・広孝、  
みやこの奇想」より



動植綵絵 全三十幅

「深鉢形土器」  
十日町市博物館  
第1巻より

伊藤若冲「動植綵絵」宮内庁二の丸尚蔵館 第14巻より



依田宗達「風神雷神図屏風」建仁寺 第13巻より

尾形光琳「巻子図屏風」根津美術館 第13巻より

東洲斎写楽「市川鯉波の竹村芝進」東京国立博物館 Image: TNA Image Archives 第15巻より

黒田清輝「湖畔」所蔵・東京国立博物館 前巻提供・東京文化財研究所 第17巻より

つげ善春「むじ式(原画)」第19巻より

村上海「五百羅漢図(部分)」第20巻より

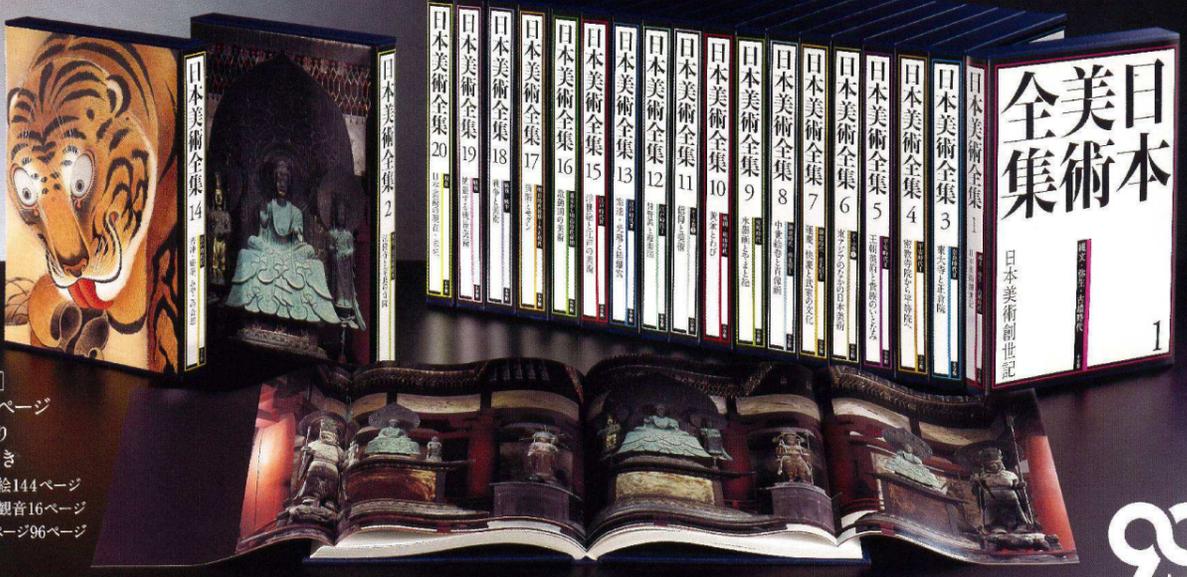
五百羅漢図 2012 Acrylic on canvas mounted on board 300×250cm ©2012 Takashi Murakami/Kaikai KIRI Co., Ltd. All Rights Reserved. Photo: Chizu Okazumi

叡智と経験を結集した、最新にして不朽の日本美術全集が、ついに刊行!

小学館創業90周年記念企画

# 日本美術全集 全20巻

2012年12月5日 刊行開始!!



[判型・仕組]  
B4判 256ページ  
上製・函入り  
各巻月報付き  
カラー図版口絵144ページ  
カラー図版両視音16ページ  
モノクロ解説ページ96ページ

定価(各巻)15,750円(税込)  
※税丁は変更となる場合がございます



**全巻新発見!!** 「美術史は過去をたどる学問ではなく、現在も生きている学問である。」の信念のもと、全巻を通して最も新しく、最も価値のある美術全集を目指しました。

**【日本美術全集の特色】**

- 美術史、歴史学界はもちろん、日本文化に精通する専門家の叡智を結集し、最新の研究成果を紹介。日本の美術とは、日本人とは何かという根源的な問いに答えます。
- 「上杉本・洛中洛外図」(狩野永徳)「動植綵絵」(伊藤若冲)など、近年の修復のめざましい成果を掲載。
- 作品のすばらしさを忠実に再現するため、必要に応じて新撮影を敢行。日本中の美術写真家の膨大な成果を最大限に活用し、各作品におけるベスト画像を掲載。
- 古代の縄文・弥生の造形から、現代の美術までを網羅し、時代巻とテーマ巻で立体的に構成。マンガや「現在」美術の巻を設け、これまでにない全集を実現。
- デザイン・印刷・造本に技術の粋をつき、再現性と保存性を両立。次代への架け橋となる永久保存版。

【第1回配本】  
2012年12月5日

## 2 法隆寺と奈良の寺院 (飛鳥・奈良時代Ⅰ)

聖徳太子ゆかりの法隆寺では、金堂内陣にて新撮影を敢行。釈迦三尊像、薬師如来像をはじめ五重塔ほか国宝の伽藍も多数撮り下ろし。薬師寺など飛鳥、奈良時代の寺院も収録。

【第2回配本】  
2013年2月22日

## 14 若冲・応挙、みやこの奇想 (江戸時代Ⅲ)

若冲、応挙、蕭白、芦雪など、18世紀の京都で旧来の画壇の因習を打破する新しい画家たちが一気に華開いた。まさに「日本のルネサンス」と呼ぶにふさわしい時代を一挙紹介。

第3回配本以降、偶数月25日頃刊行予定 ※配本期は変更となる場合がございます

第3回配本 13 宗達・光琳と桂離宮 (江戸時代Ⅱ) ISBN978-4-09-601113-3	第12回配本 9 水墨画とやまと絵 (室町時代) ISBN978-4-09-601106-6
第4回配本 10 黄金とわび(桃山時代) ISBN978-4-09-601110-2	第13回配本 11 東アジアのなかの日本美術(テーマ巻①) ISBN978-4-09-601111-9
第5回配本 3 東大寺と正倉院(奈良時代Ⅱ) ISBN978-4-09-601103-4	第14回配本 18 戦争と美術(戦前・戦中) ISBN978-4-09-601118-8
第6回配本 16 激動期の美術(幕末から明治時代前期) ISBN978-4-09-601116-4	第15回配本 8 中世絵巻と肖像画(鎌倉・南北朝時代Ⅱ) ISBN978-4-09-601108-9
第7回配本 7 運慶・快慶と中世寺院(鎌倉・南北朝時代Ⅰ) ISBN978-4-09-601107-2	第16回配本 19 拡張する戦後美術(戦後～1995) ISBN978-4-09-601119-5
第8回配本 5 王朝絵巻と貴族のいとなみ(平安時代Ⅱ) ISBN978-4-09-601106-8	第17回配本 6 信仰と美術(テーマ巻②) ISBN978-4-09-601106-5
第9回配本 12 狩野派と遊楽図(江戸時代Ⅰ) ISBN978-4-09-601112-6	第18回配本 4 密教寺院から平等院へ(平安時代Ⅰ) ISBN978-4-09-601104-1
第10回配本 17 前衛とモダン(明治時代後期～大正時代) ISBN978-4-09-601117-1	第19回配本 1 日本美術創世記(縄文・弥生・古墳時代) ISBN978-4-09-601101-0
第11回配本 15 浮世絵と江戸の美術(江戸時代Ⅳ) ISBN978-4-09-601115-7	第20回配本 20 日本美術の現在・未来(1996～現在) ISBN978-4-09-601120-1

「それ美術は国の精華なり」という岡倉天心の言葉が示すように、優れた美術作品は、長い歴史に培われた一国の文化の精髓であり、その最良の遺産である。しかもそれらは、ただ単に過去の貴重な資料であるだけにとどまらない。遠い昔に生み出されたものであっても今なお鮮やかな輝きを放ち、われわれに深い感動を与え、精神の昂揚をもたらす。絵画彫刻工芸建築の名品の数々は、歴史からの豪華な贈物であり、豊かな記憶を伝える美の使者たちなのである。かつて私は、小学館版『原色日本の美術』によって多くの新しい作品と出会い、また以前に作品を見た時の感動を改めて甦らせるという幸福な時間を持つことができた。それからほぼ半世紀、このたび装いも新たに、二十一世紀の時代にふさわしい『日本美術全集』全二〇巻が刊行されるという。まことに喜ばしい朗報であり、歓迎すべき快挙と言ふべきだろう。事実、この半世紀ほどのあいだに、美術史学は急速な飛躍を見せ、幾多の新しい知見や研究成果が

積み重ねられて来た。また、近年の緻密な修復作業によって、失われていた当初の輝きを取り戻した作品も少なくない。それらの成果は、新しい美術全集に充分に反映されることだろう。さらに、美術についての新しい視点、例えばその社会的在り方や、日本人の価値観、行動様式との深い結びつき、あるいは近年国際的にも注目を集めているデザイン、イラスト、マンガなど美術の表現領域の拡大などにも目配りをきかせている点も、新鮮であり大いに期待される。全体の編集にあたるのは、現在日本で最も信頼できる幅広い視野の美術史家たちであり、各巻の担当者はそれぞれの分野に通暁した気鋭の専門家たちである。専門研究者も含めて美術に携わる人びとはもちろん、一般の愛好者たちにとっても、是非手許に備えておきたい美の贈物であろう。

東京大学名誉教授 大原美術館館長 **高階秀爾**



小学館 小学館愛読者サービスセンター 〒101-8001 東京都千代田区一ツ橋2-3-1 TEL.03-5281-3555・3556 <http://www.shogakukan.co.jp/pr/nichibi/>

※必要事項を記入し、切り取ってお近くの書店にお申し込みください。(キリトリ線)

小学館創業90周年記念企画 <b>日本美術全集 全20巻</b>	<input type="checkbox"/> 「法隆寺と奈良の寺院」を申し込みます。	書店名 <b>紀伊國屋書店</b>
	<input type="checkbox"/> 全20巻を申し込みます。	
申込書 住所 〒□□□□□□ (マンション等にお住まいの方はマンション名もご記入ください)	お名前 フリガナ	お電話 ( )

※お客様の住所・氏名などの個人情報、お申し込みの書籍を小社から書店にお届けするために、小学館・販売会社・書店で利用させていただきます。その他の目的では利用いたしません。ご了承の上、ご記入ください。 2012年8月